



令和6年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和5年6月13日

上場会社名 株式会社きんえい 上場取引所 東
 コード番号 9636 URL https://www.kin-ei.co.jp/
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)作田 憲彦
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員経理部長 (氏名)藤下 修 (TEL) 06(6632)4553
 四半期報告書提出予定日 令和5年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年1月期第1四半期の業績(令和5年2月1日~令和5年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年1月期第1四半期	889	13.7	80	65.1	79	52.7	54	15.4
5年1月期第1四半期	782	2.9	48	△20.8	52	△20.9	47	11.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年1月期第1四半期	19.53	—
5年1月期第1四半期	16.91	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年1月期第1四半期	5,640	2,345	41.6
5年1月期	5,765	2,319	40.2

(参考) 自己資本 6年1月期第1四半期 2,345百万円 5年1月期 2,319百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
6年1月期	—				
6年1月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年1月期の業績予想(令和5年2月1日~令和6年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,700	4.6	90	△11.5	90	△14.3	50	△41.2	17.93
通期	3,480	4.0	180	2.9	180	△2.0	100	△19.8	35.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年1月期1Q	2,821,000株	5年1月期	2,821,000株
② 期末自己株式数	6年1月期1Q	32,625株	5年1月期	32,625株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	6年1月期1Q	2,788,375株	5年1月期1Q	2,788,540株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期損益計算書関係)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中における将来に関する事項は、当第1四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費は徐々に持ちなおし、企業収益は総じて改善している一方で、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や海外景気の下振れによる景気下押しリスクが懸念される中、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

この間当社におきましては、社会経済活動の変化や動向を注視し、当社施設において安全で快適な環境づくりに努めるとともに、あべのアポロシネマへの集客、アポロビル・ルシアスビルにおける空室部分への後継テナント誘致に注力しました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

シネマ・アミューズメント事業部門におきましては、“名探偵コナン 黒鉄の魚影” “ドラえもん のび太と空の理想郷” “滝沢歌舞伎 ZERO FINAL” “鬼滅の刃 上弦集結、そして刀鍛冶の里へ” “THE FIRST SLAM DUNK” などの話題作を上映する一方、感染予防対策を継続した上で販売促進活動を推進した結果、収入合計は386,152千円（前年同期比36.9%増）、営業原価控除後のセグメント利益は38,460千円（前年同期セグメント損失891千円）となりました。

不動産事業部門におきましては、テナント入居率の維持・向上による賃料収入の確保に努めた結果、セグメント全体の収入合計は503,206千円（前年同期比0.7%増）となり、セグメント利益は116,101千円（前年同期比3.7%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高合計は889,359千円（前年同期比13.7%増）となり、費用面におきましては、部門別業績管理の徹底により、諸経費全般に亘って鋭意抑制した結果、営業利益は80,653千円（前年同期比65.1%増）となり、経常利益は79,889千円（前年同期比52.7%増）、四半期純利益は54,446千円（前年同期比15.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、短期貸付金の減少等により前期末に比較して125,272千円減少し、5,640,588千円となりました。負債は、設備関係未払金の減少等により、前期末に比較して151,041千円減少し、3,295,267千円となりました。純資産は、四半期純利益など利益剰余金の増加額が配当金の支払い等による減少額を上回ったため、前期末に比較して25,768千円増加し、2,345,320千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年1月期の業績予想につきましては、令和5年3月14日に「令和5年1月期決算短信（非連結）」にて公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和5年1月31日)	当第1四半期会計期間 (令和5年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	75,622	114,874
売掛金及び契約資産	109,940	155,225
商品	3,823	4,122
その他	704,658	545,413
貸倒引当金	△730	△610
流動資産合計	893,315	819,026
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,715,511	2,702,863
機械及び装置（純額）	41,968	40,517
工具、器具及び備品（純額）	79,664	71,218
土地	1,123,748	1,123,748
建設仮勘定	20,370	-
有形固定資産合計	3,981,263	3,938,347
無形固定資産	31,020	24,604
投資その他の資産		
差入保証金	815,746	815,746
その他	44,514	42,862
投資その他の資産合計	860,261	858,609
固定資産合計	4,872,545	4,821,561
資産合計	5,765,860	5,640,588
負債の部		
流動負債		
買掛金	92,761	123,684
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	75,000	75,000
未払法人税等	36,852	29,050
賞与引当金	8,800	16,200
その他	674,801	513,334
流動負債合計	1,238,215	1,107,269
固定負債		
長期借入金	318,750	300,000
退職給付引当金	60,451	61,489
受入保証金	1,533,934	1,533,900
資産除去債務	290,000	290,000
その他	4,957	2,608
固定負債合計	2,208,093	2,187,998
負債合計	3,446,309	3,295,267

(単位：千円)

	前事業年度 (令和5年1月31日)	当第1四半期会計期間 (令和5年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,200	564,200
資本剰余金	24,155	24,155
利益剰余金	1,838,166	1,864,728
自己株式	△111,508	△111,508
株主資本合計	2,315,013	2,341,576
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,537	3,744
評価・換算差額等合計	4,537	3,744
純資産合計	2,319,551	2,345,320
負債純資産合計	5,765,860	5,640,588

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 令和4年2月1日 至 令和4年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自 令和5年2月1日 至 令和5年4月30日)
売上高	782,064	889,359
営業原価	662,391	734,797
営業総利益	119,673	154,562
一般管理費	70,830	73,908
営業利益	48,843	80,653
営業外収益		
受取利息	352	454
給付金収入	-	200
違約金収入	4,833	-
雑収入	45	19
営業外収益合計	5,230	674
営業外費用		
支払利息	1,754	1,436
雑支出	1	2
営業外費用合計	1,756	1,438
経常利益	52,317	79,889
特別利益		
休業等の要請に伴う協力金	※1 16,080	-
特別利益合計	16,080	-
特別損失		
固定資産除却損	255	344
特別損失合計	255	344
税引前四半期純利益	68,142	79,545
法人税、住民税及び事業税	21,747	27,098
法人税等調整額	△770	△1,999
法人税等合計	20,977	25,098
四半期純利益	47,165	54,446

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

※1 休業等の要請に伴う協力金

前第1四半期累計期間(令和4年2月1日から令和4年4月30日まで)

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた大阪府からの休業等の要請に応じたことによる協力金を、休業等の要請に伴う協力金として特別利益に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(令和4年2月1日から令和4年4月30日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
劇場収入	255,855	—	255,855	—	255,855
ビル共益費等収入	—	99,531	99,531	—	99,531
娯楽場及びその他事業収入	26,294	5,455	31,749	—	31,749
顧客との契約から生じる収益	282,149	104,986	387,135	—	387,135
その他の収益	—	394,929	394,929	—	394,929
外部顧客への売上高	282,149	499,915	782,064	—	782,064
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	282,149	499,915	782,064	—	782,064
セグメント利益又は損失(△)	△891	120,565	119,673	△70,830	48,843

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期累計期間(令和5年2月1日から令和5年4月30日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
劇場収入	334,738	—	334,738	—	334,738
ビル共益費等収入	—	99,026	99,026	—	99,026
娯楽場及びその他事業収入	51,414	5,556	56,971	—	56,971
顧客との契約から生じる収益	386,152	104,583	490,736	—	490,736
その他の収益	—	398,623	398,623	—	398,623
外部顧客への売上高	386,152	503,206	889,359	—	889,359
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	386,152	503,206	889,359	—	889,359
セグメント利益	38,460	116,101	154,562	△73,908	80,653

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。